

意見の概要および市の考え方（湖東圏域地域公共交通計画（素案））

No	意見の概要	意見数	市の考え方
第3章 上位関連計画の整理			
1	観光だけでなく普段の市民の足にもなり、民間活性化が出来るライドシェア導入についての検討は？	1件	ライドシェア導入に向けて、具体的な検討は行っておりませんが、国の法整備状況や、議論の動向を注視し、他県・他市の動きを捉えながら、効果や課題の研究を進めてまいります。
2	運行の推進やバス路線からの変更も計画に盛り込まれているが、彦根市内のタクシー運転手は都市部とは違い高齢化が著しい。1社のみが対応しているが退職による運転手の減少時の対応は？ 事故のリスクについてはどう考えているのか？	1件	タクシー乗務員の高齢化や乗務員不足については、運行会社と連携し、公共交通の運行維持に必要な乗務員数の確保に努めてまいります。また、運行の安全性確保や事故防止につきましても、運行会社に十分な対策を求めてまいります。
第10章 目標を達成するために行う事業及びその実施主体			
1	今年春からの2024年問題・運転手大量退職の2030年問題と話題になっているが、大津市では残念ながら中止となったが自動バス運転について具体的な導入や実験などは考えていないのか？	1件	自動バス運転に係る技術は、国の内外で研究開発が進められており、2030年問題とされる運転手不足の解消に繋がるものと期待しています。今後は技術開発の動向を注視し、他地域での実証実験の結果を参考にしながら、当圏域への適用の可能性を研究してまいります。
2	自家用有償旅客運送だけでなく、ライドシェア導入により税金の投入を最小限に抑え、民間力の活性化で彦根市の負債が最小限になるようにお願いしたい。	1件	一般ドライバーが有償で顧客を送迎できるライドシェアが2024年4月に条件付きで利用できるよう法整備が進められておりますが、民間力を最大に活用できる制度設計は国において今後も検討が続けられる段階です。引き続き、国の動きを注視しながら、ライドシェアを含め新しいモビリティサービスの導入可能性について研究し、行政負担の抑制に繋がる施策を検討してまいります。